

2024年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMDC

コード番号 4483 URL https://www.jmdc.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 野口 亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 兼 CFO (氏名) 望月 智洋

TEL 03-5733-5010

定時株主総会開催予定日 2024年6月25日

配当支払開始予定日 2024年6月6日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

## 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（百万円未満切捨て）

## （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	32,381	16.4	7,006	18.2	6,907	17.6	4,627	8.2	4,607	8.0	4,631	7.7
2023年3月期	27,809	27.5	5,926	23.9	5,876	23.2	4,274	31.8	4,267	31.4	4,299	32.4

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	71.76	69.95	6.8	6.3	21.6
2023年3月期	71.17	67.69	8.9	7.3	21.3

（参考）持分法投資損益2024年3月期 0百万円 2023年3月期 ー百万円  
EBITDA 2024年3月期 9,471百万円 (22.7%) 2023年3月期 7,716百万円 (20.4%)

（注）EBITDA：営業利益＋減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	122,452	70,686	70,590	57.6	1,080.51
2023年3月期	98,567	64,524	64,539	65.5	1,025.89

## （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△17	△24,864	16,581	14,473
2023年3月期	4,062	△22,769	28,296	22,782

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	—	—	12.00	12.00	754	16.9	1.5
2024年3月期	—	—	—	14.00	14.00	914	19.5	1.3
2025年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）2024年3月期における1株当たり期末配当金については、未定から14円に決定しております。詳細については、本日（2024年5月7日）公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	32.8	9,300	32.7	9,100	31.7	6,200	34.0	6,200	34.6	94.90

（参考）EBITDA 2025年3月期通期 12,000百万円 (26.7%)

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	65,331,208株	2023年3月期	62,910,608株
2024年3月期	647株	2023年3月期	574株
2024年3月期	64,204,940株	2023年3月期	59,965,644株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	11,474	21.9	1,877	△6.4	1,916	5.5	△429	—
2023年3月期	9,409	17.2	2,006	23.8	1,816	6.8	1,323	9.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	△6.69	—
2023年3月期	22.08	21.00

(注) 2024年3月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	90,867	60,867	67.0	931.64
2023年3月期	73,222	59,843	81.7	950.74

(参考) 自己資本 2024年3月期 60,836百万円 2023年3月期 59,811百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の5ページをご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結財政状態計算書 .....	6
(2) 連結損益計算書 .....	7
(3) 連結包括利益計算書 .....	8
(4) 連結持分変動計算書 .....	9
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(6) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当社は、「データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現する」ことを目指して、日本のヘルスケア業界の多様なデータを結集し、社会に還元することを通じて、生活者の健康増進や医療プロバイダーの価値向上・業務最適化を支援しております。

ヘルスビッグデータセグメントは、健康保険組合を中心とした保険者の保健事業を推進するため、保険者が保有するデータの分析サービスの他、当社開発のPHRサービスを提供しております。また、医療機関に対しても医療データ分析サービス、診療報酬ファクタリングサービスの他、薬剤DBの提供等を行っております。さらに、こうした業務の付帯として受領した匿名加工情報をデータベース化し、学術・産業利用を進めております。

遠隔医療セグメントは、放射線診断専門医が不足している医療機関と契約読影医を遠隔読影システムでつなぐマッチングサービスの他、医療機関と放射線診断専門医をクラウドでつなぎ、遠隔での画像診断を可能としたASPサービスを提供しております。

調剤薬局支援セグメントは、保険薬局に対してレセコン及び電子薬歴システムなどのシステム開発・販売事業を行っております。

当連結会計年度の業績は、以下のとおりであります。

(当期の業績)

(単位：百万円)

区 分	第10期	第11期	比較増減	
	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		
売上収益	27,809	32,381	+4,571	+16.4%
営業利益	5,926	7,006	+1,079	+18.2%
EBITDA(マージン)	7,716 (27.7%)	9,471 (29.3%)	+1,755	+22.7%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

区 分	第10期	第11期	比較増減		
	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)			
ヘルスビッグ データ	セグメント売上収益	19,221	25,058	+5,836	+30.4%
	セグメント利益(率)	6,137 (31.9%)	7,886 (31.5%)	+1,748	+28.5%
遠隔医療	セグメント売上収益	5,038	5,579	+540	+10.7%
	セグメント利益(率)	1,768 (35.1%)	2,075 (37.2%)	+306	+17.4%
調剤薬局支援	セグメント売上収益	3,826	1,859	△1,967	△51.4%
	セグメント利益(率)	459 (12.0%)	229 (12.3%)	△230	△50.1%
調整額	セグメント売上収益	△277	△115	+162	—
	セグメント利益	△649	△719	△70	—
合計	売上収益	27,809	32,381	+4,571	+16.4%
	EBITDA(マージン)	7,716 (27.7%)	9,471 (29.3%)	+1,755	+22.7%

(注) 当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、EBITDAがあります。当社グループは、EBITDAを用いて各セグメントの業績を測定しており、当社グループの業績評価をより効果的に行うために有用かつ必要な指標であると考えております。EBITDA及びEBITDAマージンの計算式は以下のとおりです。

- ・EBITDA : 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用
- ・EBITDAマージン : EBITDA/売上収益×100

[ヘルスビッグデータ]

当社グループは健康保険組合より寄せられたレセプト(入院、外来、調剤)、健診データ及び加入者台帳を匿名加工することで、民間利用可能な国内最大規模のヘルスビッグデータを有しております。当連結会計年度においても取引先健康保険組合数、利活用先である製薬企業及び保険会社の1顧客あたりの年間取引額はそれぞれ前年同期比ベースで継続して増加しており、事業は拡大を続けております。

また、当社開発の健康情報プラットフォーム「Pe p Up」(ペップアップ)により、上記のヘルスビッグデータに基づいて、一人ひとりのユーザーに合わせた個別アドバイスや疾病リスク表示を行っております。Pe p Upの発行ID数は当連結会計年度においても拡大を続けております。

上記の事業拡大に加え、2023年6月には、業界団体を超えた健康経営の実践に取り組む148社・団体が集結し、

「健康経営アライアンス」が本格始動し、3月31日時点で373社・団体に拡大、初年度の目標としていた300社に到達しております。同アライアンスは、社員の健康をつうじた日本企業の活性化と健保の持続可能性の実現をミッションに活動しており、現在、勉強会・セミナー、アンケート・データ分析に基づく健康経営アセスメント、健康経営ソリューションの情報プラットフォーム構築の3つの取り組みを進めております。今後、活動の更なる拡大と健康経営の実践を通じた成果及び事業の創出を加速してまいります。

また、当連結会計年度において、株式会社キャンサースキャンを子会社化いたしました。キャンサースキャンが有する自治体における強固な顧客基盤を通じ、当社が健康保険組合との取引にて培ったサービス・ソリューションを展開すること、また、キャンサースキャンの強みである行動変容ノウハウを応用し開発した生活習慣病治療プログラム等のソリューションを、当社顧客の健康保険組合・企業等に提供することで、当社グループの保険者・生活者領域における一層の事業規模拡大を加速させてまいります。

この結果、当連結会計年度のセグメント売上収益は、25,058百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は7,886百万円となりました。

#### [遠隔医療]

当社グループは国内最大の放射線診断専門医プラットフォームを有しております。当連結会計年度においては、遠隔読影サービスを利用する医療機関数が拡大した結果、売上収益は前年同期比ベースで増収となりました。

なお、画像診断をアシストする人工知能エンジンプラットフォーム「AI-RAD」の機能追加やアジアでの事業展開を本格化するための準備等、事業拡大のための施策は引き続き進めております。

この結果、当連結会計年度のセグメント売上収益は、5,579百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は2,075百万円となりました。

#### [調剤薬局支援]

当連結会計年度においては、既存顧客の買換え（リプレース）需要を確保しつつ、新規顧客の開拓に努めてまいりました。調剤薬局を取り巻く環境はデジタル化を進めながら競争が激しさを増しております。

上記の状況の中、当社の調剤薬局支援セグメントの構成要素である株式会社ユニケソフトウェアリサーチ及びその管理目的会社について、2023年6月にその全株式を当社の業務提携先である株式会社EMシステムズに譲渡いたしました。本譲渡により、これまで行ってきた両社の取り組みを更に加速させることでより一層質の高いサービスの提供と、薬局市場において新たな旋風を巻き起こし占有率を高めてまいります。

この結果、当連結会計年度のセグメント売上収益は、1,859百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は229百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上収益は32,381百万円、営業利益は7,006百万円、EBITDAは9,471百万円の増収増益となりました。なお、EBITDAから営業利益への調整は以下のとおりであります。

(EBITDAから営業利益への調整表)

(単位：百万円)

	第10期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	第11期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
EBITDA	7,716	9,471
減価償却費及び償却費	△2,016	△2,237
その他の収益	275	1,555
その他の費用	△49	△1,783
営業利益	5,926	7,006

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末と比べ23,885百万円増加し122,452百万円となりました。これは主に、事業拡大に伴う営業債権及びその他の債権が10,932百万円増加したことに加え、株式会社キャンサーキャンの株式の取得（子会社化）等に伴い、のれんが16,150百万円増加したことによります。現金及び現金同等物は8,308百万円減少しておりますが、現金及び現金同等物の増減については、「(3) 当期のキャッシュ・フローの概況」を参照ください。

## (負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末と比べ17,723百万円増加し51,765百万円となりました。これは主に、流動負債の借入金が21,358百万円増加したことによります。

## (資本)

当連結会計年度末における資本は、前連結会計年度末と比べ6,162百万円増加し70,686百万円となりました。これは主に、親会社の所有者に帰属する当期利益4,607百万円の計上により利益剰余金が増加したことに加え、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ1,105百万円増加したことによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8,308百万円減少し、14,473百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、17百万円（前連結会計年度は4,062百万円の収入）となりました。これは主に、税引前利益を6,907百万円、減価償却費及び償却費を2,237百万円計上した一方で、事業拡大に伴う営業債権及びその他の債権の増加額6,675百万円、法人所得税の支払額2,317百万円を計上したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、24,864百万円（前連結会計年度は22,769百万円の支出）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出20,176百万円、投資の取得による支出2,572百万円、有形固定資産の取得による支出893百万円、無形資産の取得による支出1,365百万円をそれぞれ計上したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、16,581百万円（前連結会計年度は28,296百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入れによる収入16,402百万円を計上したことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

次期の業績については、増収増益を見込んでおります。

## ① ヘルスビッグデータ

ヘルスケアに係る様々なプレーヤーに対して、データ利活用サービスの高付加価値化とデータ種類の拡充による施策を展開することにより、さらなる業績の拡大を見込んでおります。また、株式会社キャンサースク্যানの子会社化により、自治体領域における事業規模が大きく拡大することを見込んでおります。一方で、日本のヘルスケアの主要な領域においてデータ環境の構築を進めていくため、将来の成長に向けた積極的な先行投資は継続してまいります。

## ② 遠隔医療

遠隔画像診断支援サービスのさらなる品質強化とオペレーションの効率化を行い、医療機関における遠隔読影ニーズを捉えていくことで、引き続き堅調に業績が拡大することを見込んでおります。また、AIの活用をはじめとする医療機関へのサービス内容の拡充や、海外への事業展開も検討してまいります。

## ③ 調剤薬局支援

グループ内のシナジーを活用し、販売強化を図っていくことで、業績は底堅く推移することを見込んでおります。

当社グループの連結業績としては、売上収益は43,000百万円（対前期+10,618百万円）、営業利益は9,300百万円（対前期+2,293百万円）、税引前利益は9,100百万円（対前期+2,192百万円）、親会社の所有者に帰属する当期利益は6,200百万円（対前期+1,592百万円）を見込んでおります。また、当社が重要な経営指標として位置付けているEBITDAは12,000百万円（対前期+2,528百万円）を見込んでおります。

上記の見通しは、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、今後の状況の変化により大きく変動し、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務諸表の国際的な比較可能性の向上、及びグループ内での会計処理の統一等を目的とし、2019年3月期から従来の日本基準に替えて国際会計基準（IFRS）を任意適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	22,782	14,473
営業債権及びその他の債権	11,241	22,173
その他の金融資産	3,340	3,619
棚卸資産	275	249
その他の流動資産	601	879
流動資産合計	38,240	41,395
非流動資産		
有形固定資産	10,772	12,724
のれん	39,824	55,974
無形資産	5,922	5,768
その他の金融資産	1,597	4,541
繰延税金資産	2,057	1,771
その他の非流動資産	152	277
非流動資産合計	60,326	81,057
資産合計	98,567	122,452
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
借入金	994	22,352
営業債務及びその他の債務	5,790	5,975
リース負債	846	1,086
未払法人所得税	1,201	1,316
契約負債	2,066	1,462
その他の流動負債	1,317	2,041
流動負債合計	12,216	34,235
非流動負債		
借入金	11,935	6,574
リース負債	6,623	7,819
退職給付に係る負債	322	205
引当金	692	472
繰延税金負債	730	699
契約負債	1,520	1,535
その他の非流動負債	—	223
非流動負債合計	21,825	17,530
負債合計	34,042	51,765
資本		
資本金	23,994	25,099
資本剰余金	27,211	28,304
自己株式	△2	△3
その他の資本の構成要素	28	23
利益剰余金	13,308	17,166
親会社の所有者に帰属する持分合計	64,539	70,590
非支配持分	△14	96
資本合計	64,524	70,686
負債及び資本合計	98,567	122,452



## (2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	27,809	32,381
売上原価	11,950	13,128
売上総利益	15,859	19,252
販売費及び一般管理費	10,158	12,017
その他の収益	275	1,555
その他の費用	49	1,783
営業利益	5,926	7,006
金融収益	38	16
金融費用	88	114
持分法による投資損益 (△は損失)	—	0
税引前利益	5,876	6,907
法人所得税費用	1,601	2,280
当期利益	4,274	4,627
当期利益の帰属		
親会社の所有者	4,267	4,607
非支配持分	6	19
当期利益	4,274	4,627
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益 (円)	71.17	71.76
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	67.69	69.95

## (3) 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期利益	4,274	4,627
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	3	5
確定給付制度の再測定	21	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	25	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△0	△1
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△0	△1
税引後その他の包括利益	25	3
当期包括利益	4,299	4,631
当期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	4,292	4,611
非支配持分	6	19
当期包括利益	4,299	4,631

## (4) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の外貨換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2022年4月1日時点の残高	9,091	12,483	△2	△4	—	—
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△0	3	21
当期包括利益合計	—	—	—	△0	3	21
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—
新株予約権の行使	169	169	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	0	—	—	—	—
新株の発行	14,732	14,558	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	△3	△21
所有者との取引額合計	14,902	14,728	△0	—	△3	△21
2023年3月31日時点の残高	23,994	27,211	△2	△4	—	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	合計	
	新株予約権	合計	利益剰余金			
2022年4月1日時点の残高	21	17	9,580	31,170	△5	31,165
当期利益	—	—	4,267	4,267	6	4,274
その他の包括利益	—	25	—	25	—	25
当期包括利益合計	—	25	4,267	4,292	6	4,299
新株予約権の発行	13	13	—	13	—	13
新株予約権の行使	△2	△2	—	337	—	337
新株予約権の失効	△0	△0	—	—	—	—
新株の発行	—	—	—	29,290	—	29,290
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△565	△565	—	△565
企業結合による変動	—	—	—	—	△15	△15
利益剰余金への振替	—	△25	25	—	—	—
所有者との取引額合計	10	△14	△540	29,075	△15	29,059
2023年3月31日時点の残高	32	28	13,308	64,539	△14	64,524

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の外貨換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権
2023年4月1日時点の残高	23,994	27,211	△2	△4	—	32
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1	5	—
当期包括利益合計	—	—	—	△1	5	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	6
新株予約権の行使	1,105	1,105	—	—	—	△8
新株予約権の失効	—	0	—	—	—	△0
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	△13	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	△5	—
所有者との取引額合計	1,105	1,092	△0	—	△5	△2
2024年3月31日時点の残高	25,099	28,304	△3	△6	—	30

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	合計				
2023年4月1日時点の残高	28	13,308	64,539	△14	64,524
当期利益	—	4,607	4,607	19	4,627
その他の包括利益	3	—	3	—	3
当期包括利益合計	3	4,607	4,611	19	4,631
新株予約権の発行	6	—	6	—	6
新株予約権の行使	△8	—	2,202	—	2,202
新株予約権の失効	△0	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	△754	△754	—	△754
企業結合による変動	—	—	△13	90	77
利益剰余金への振替	△5	5	—	—	—
所有者との取引額合計	△8	△749	1,440	90	1,531
2024年3月31日時点の残高	23	17,166	70,590	96	70,686

## (5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	5,876	6,907
減価償却費及び償却費	2,016	2,237
その他の収益	△275	△1,555
その他の費用	49	1,783
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,394	△6,675
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6	△49
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△722	275
その他	431	△558
小計	5,974	2,366
利息及び配当金の受取額	0	14
利息の支払額	△86	△80
法人所得税の支払額	△1,826	△2,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,062	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△822	△893
無形資産の取得による支出	△1,118	△1,365
貸付けによる支出	△790	△264
貸付金の回収による収入	110	18
投資の取得による支出	△192	△2,572
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	25	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△20,139	△20,176
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	273
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△108
その他	158	225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,769	△24,864
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,145	16,402
短期借入金の返済による支出	△20,358	△264
長期借入れによる収入	1,810	2,528
長期借入金の返済による支出	△1,439	△2,606
リース負債の返済による支出	△859	△931
株式の発行による収入	29,212	—
新株予約権の行使による収入	337	2,202
配当金の支払額	△564	△754
その他	12	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,296	16,581
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,589	△8,300
現金及び現金同等物の期首残高	13,192	22,782
現金及び現金同等物の為替変動による影響	0	△8
現金及び現金同等物の期末残高	22,782	14,473

## (6) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは提供するサービスの類似性を勘案し、「ヘルスビッグデータ」、「遠隔医療」及び「調剤薬局支援」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに含まれる主な事業並びに主要なサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業	主要なサービス
ヘルスビッグデータ	インダストリー向け事業 保険者・生活者向け事業 医療提供者向け事業	医療データベース（レセプト・医薬品ほか）の開発・提供、医療ビッグデータの分析
遠隔医療	遠隔医療事業	遠隔読影マッチングサービス及び遠隔読影システムのASPサービス
調剤薬局支援	調剤薬局支援事業	調剤薬局向け業務システムの開発・販売

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は会計方針における記載と同一であります。セグメント間の内部売上収益は、市場価格や製造原価を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。

報告セグメントの利益はEBITDAであり、計算式は以下のとおりです。

EBITDA : 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

## (3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	19,138	5,038	3,631	27,809	—	27,809
セグメント間収益	83	—	194	277	△277	—
合計	19,221	5,038	3,826	28,087	△277	27,809
セグメント利益						
EBITDA	6,137	1,768	459	8,366	△649	7,716
その他の項目						
減価償却費及び償却費	1,407	344	263	2,015	0	2,016

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	24,993	5,579	1,808	32,381	—	32,381
セグメント間収益	64	—	50	115	△115	—
合計	25,058	5,579	1,859	32,496	△115	32,381
セグメント利益						
EBITDA	7,886	2,075	229	10,191	△719	9,471
その他の項目						
減価償却費及び償却費	1,681	420	135	2,236	0	2,237

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

EBITDAから税引前利益への調整表は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
EBITDA	7,716	9,471
減価償却費及び償却費	△2,016	△2,237
その他の収益	275	1,555
その他の費用	△49	△1,783
営業利益	5,926	7,006
金融収益	38	16
金融費用	△88	△114
持分法による投資損益 (△は損失)	—	0
税引前利益	5,876	6,907

(4) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスの区分が報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

(5) 地域別に関する情報

当社グループにおける本邦からの売上収益の額が全体の90%を超えているため、また、当社グループの非流動資産はほぼ全てが本邦にあることから、地域ごとの情報は省略しております。

(6) 主要な顧客に関する情報

外部顧客への売上収益のうち、連結損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

## (1) 基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	4,267	4,607
親会社の普通株主に帰属しない当期利益 (百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	4,267	4,607
加重平均普通株式数 (千株)	59,966	64,205
基本的1株当たり当期利益 (円)	71.17	71.76

## (2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	4,267	4,607
当期利益調整額 (百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	4,267	4,607
加重平均普通株式数 (千株)	59,966	64,205
普通株式増加数 新株予約権 (千株)	3,085	1,663
希薄化後の加重平均普通株式数 (千株)	63,051	65,868
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	67.69	69.95

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。